

令和3年度（2021年）自己評価書

令和4年3月17日

真庭市立湯原こども園

園長 三崎 志保

1. 湯原こども園の教育保育目標

- 心身共に健康で、友達を大切にして元気に遊ぶ子ども
- よく見、よく聞き、よく考えて行動する子ども
 - ・話のできる子ども
 - ・手をつなぐ子ども
 - ・考える子ども

1. 本年度の重点目標

- 子どもが安心して自己発揮できる保育者や友達との信頼関係づくり。
- 各年齢に合わせた運動遊びや栽培活動を通して体との関係や体を動かすことの心地よさを体験したり試したくなる環境づくり。
- 研修会に参加し、成果を職員間で共有し保育の実践に生かす。
- 異年齢児交流の関わり中で、友達関係を深めお互いが育ちあう仲間づくり。
- 地域の自然豊かな環境の中で、意欲的に自然に関わり、発見をしたり感じたり体験したことを遊びや表現活動に取り入れる。
- 職員の危機管理意識の向上を図るとともに、安全に必要な習慣や態度を身に付くように指導を充実させる。
- 地域の特色を生かした行事や小学校との繋がりを深める保育の実践。
- 見守りが必要な家庭環境にある子および家庭に、関係機関との連携をはかりながら適切に対応する。

2. 園評価の個別評価

評価指標	考 察	園総合評価
教育課程・指導計画	子どもの姿や育ちを捉え、育てたい力を意識し子ども主体の保育実践に努める事ができた。	3
行事	行事の形態を変更し日々の保育の中から子ども主体の行事となるよう計画し取り組んだ。	2
組織・運営	会議、園内研修の中で話し合いを重ね、職員同士共通理解を持ち保育に努めた。	2
学級経営	担任は、子ども一人一人を大切に保育者との信頼関係の中で子ども理解に努め、保育が実践できた。	3
特別支援教育	配慮を要する子どもの姿を職員間で共通理解していくようにした。	3
安全管理・保健指導	毎月安全点検を実施し、危険箇所があれば早急に修繕を依頼し安全管理に努めた。	3
研修（資質向上）	研修の中で、職員同士が学び合える機会を持ちお互いの気付きを出し合い保育に活かした。	3
情報提供・保護者・地域との連携	地域の行事に参加する経験を持たず、自信に繋がりにくかった。保護者への情報提供は、連絡帳・園だよりウサギメールで発信している。	3
小学校との接続・連携	こ小中連絡会が年2回あり、情報共有ができた。行事参加もあり就学への期待が持てた。	2
子育て支援	個人懇談や送迎時の会話を大切にし、情報発信や困っていることを聞く等、保護者に寄り添うようにした。	3
食育の推進（給食）	栽培活動やクッキングを通して命をいただく取り組みの中で健康・成長について学べた。	3
食事の提供（調理）	安心安全な給食提供に心がけ徹底した調理に努めた。	4

4. その他必要な評価

評価指標	考 察	園総合評価

5. 本年度の重点目標及び総合的な評価結果の考察等

- ・保育者はいつも明るく笑顔で子ども達や保護者を迎えるように努めるとともに、子育てに関する相談や意見に耳を傾けるようにした。
- ・子ども達は、保育者や友達との信頼関係を築きながら、自分を表現し成長している。
- ・異年齢児交流を増やしクラスの枠を超えた活動をする中で、友達の気持ちを考えたり、思いやる気持ちをもったり、友達を受容する姿が見られ、子どもの内面の育ちに繋がった。
- ・異年齢児同士の自然な関わりの中で、年齢の大きい友達の遊びを真似たり、できないことに挑戦しようとしたりする子どもの姿が見られた。
- ・研修会を通して、子どもの育ちを的確に捉え、保育者同士の話し合いができた。
- ・園外活動を多く取り入れ、子ども達から地域への関わりや身近な自然への働きかけが行える環境整備をし積極的に活動できた。
- ・戸外遊びが大好きで、保育者も一緒に体を動かすことの心地の良さを体験し、挑戦したくなる環境を作ったことで、励みになり意欲的に楽しんで取り組めた。できるようになったことを、喜び合う子どもの姿が見られた。
- ・安全管理においては、県や課からの伝達事項を元に職員間でマニュアルを確認し徹底に努めた。
- ・感染症に対する方針や対応が見えてきたことで、生活様式に気を付けて過ごすことができ、園全体で感染症を防ぐように努めることができた。
- ・園内外の行事に関しては、例年通りに行えず、残念がる声があった。

6. 評価結果を受けての具体的改善方策等

- ・職員は一人一人の子どもの姿を的確に捉え、保育のねらい・内容を明確に理解し、育てほしい力・育てたい力を意識して、子どもが園に通うのを楽しみに、また、保護者も安心して預けられる園づくりをしていかなければならない。
- ・子ども達の園生活の様子が保護者に十分に伝わるように、クラスだよりやお知らせボード活用して子どもの姿を伝えていく。
- ・園外保育においては、安全面を事前に確認し、職員体制を整えた上で恵まれた周囲の自然を五感で感じながら、子ども達の感性が豊かに育っていく保育実践をしていく。また、子ども達の体力向上にも繋げていく。
- ・保護者参加の行事の日程は、地域行事・学区の小・中学校の行事を考慮し計画する。また、ねらいを保護者に伝え、子ども主体の行事計画にしていく。
- ・例年通りの園行事が開催されることを望む声があるので、感染症対策を講じながら日程及び内容を十分検討する。